

# イノスマンスリー

INOS Monthly



なるほど！特選雑学情報

## Q.電車の弱冷房車は、冬の暖房時はどうなるのでしょうか？



A.JR西日本に聞きました。冷房車は気温が何度かにかかるから、車内温度を25~26度に設定しています。弱冷房車は1、2度高めの26~28度です。最近の車両は大半が、車掌室で車内温度の調整ができますが、基本的に温度は時間帯や車内の混雑具合に関係なく、一定にしています。冬場の車内は21度に設定していて、それより温度の低い「弱暖房車」はありません。冷房車はスタート時に乗客から「冷えすぎる」といった声があったため、1987年（昭和62）7月から弱冷房車を設けるようになりました。しかし、暖房は個人が肌を感じる温度差が冷房ほどではないと思われることや、「温度差を」といった声もないことから、同じにしています。ちなみに寝台車の暖房温度は、普通車よりやや低い18度です。

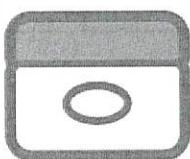
## Q.ハンドクリームなどの成分にある「尿素」の尿って？



A.カネボウによると、尿素は最初に尿に含まれているのが発見されたことからこの名前がついています。

尿素は、タンパク質が体の中で分解されてできます。しかし、実際に化粧品の原料として使うものはアンモニアと二酸化炭素を高温高圧下で化学合成したもので、尿とは関係ありません。

尿素は「保湿」「保水」の力があり、肌荒れに効果があることから、ハンドクリームなどに利用されています。



## Q.売れ残った宝くじの中に当選番号が出た場合はどのようにになっているのか？



A.みずほ銀行宝くじ部に聞きました。通常、ジャンボ宝くじの場合、1割ぐらいが売れ残ります。売れ残った分は抽選会までに全部回収され、その中から当選番号が出た場合は無効になります。

2005年のドリームジャンボ宝くじの場合、4億2000万枚売り出し、1等は42本を予定していました。約1割売れ残ったため、実際に賞金が支払われるのは40本で、販売枚数に対する割合はほぼ一定です。

売り上げから賞金と経費を引いた収益金が自治体に配分されます。収益金は売り上げに比例するので売れ残りが多いと減ります。

## Q.切手をはるとき、裏をなめることもありますが、害はない？



A.総務省と切手を作っている独立行政法人国立印刷局に聞きました。切手ののりの主成分はポリビニールアルコール（ポバール）と呼ばれる化学のりです。日本食品分析センター（東京都）の検査で「無害」とされています。

メーカーでつくる酢ビ・ポバール工業会によりますと、ポバールは食べるものではありませんが、有毒性は極めて低いとしています。ポバール自体は水に溶けますが、これを溶けにくくして、原料にした繊維が日本で開発された唯一の合成繊維、ビニロンです。



『雑学新聞』発・思わず「へえ～」な話のネタ、次号もお楽しみに！

全国に広がる家づくりネットワーク  
**INOS**  
イノスグループ

(有) 野中建築工業所

Nonaken 一級建築士事務所